

情報掲示板

information

お得なご招待や日々の暮らしに役立つ情報など

東北と大阪を繋ぐ情報紙

第13号：平成24年6月

IMONIKAI

いもにまい

発行 社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会
大阪市ボランティア情報センター
住所：〒543-0021
大阪市天王寺区東高津町12-10
大阪市立社会福祉センター内
電話番号：06-6765-4041
FAX：06-6765-5618

協力 大阪弁護士会
大阪市各区社会福祉協議会

編み物（志津川エコタコたわし） & バルーンアート教室

宮城名物志津川タコをモチーフにしたタコたわし。四月には
実際現地で編み物教室やバルーンアートのイベントを行いま
した。関西に避難されている方々との交流や、宮城県の事
を沢山の人の知ってもらえる場所を作りたいと思い、企画し
ました。

日時： 7月21日(土) 13:30～14:30 バルーン
14:45～16:15 編み物

場所： 大阪市立男女共同参画センター 北部館
(クレオ大阪北)
阪急「淡路」駅東出口から南東へ徒歩約10分

参加費： 無料

募集： 初心者から、経験者まで。子どもから大人まで。
幅広い方に楽しんで頂けるようになっています
のでぜひお気軽にご参加ください！

定員： 約15名 特典： プチお土産付

申込： お名前・ご年齢・ご連絡先・人数(お連れ様がいらっ
しゃる場合)をご明記の上
v.asobokai@gmail.comまでご連絡願います。
ご質問などもお気軽にお問い合わせください。

ボランティア団体Asobo!会(担当：根本知子)
HP：http://asobokai.web.fc2.com/

こどものための博物館 キッズプラザ大阪へご招待

「キッズプラザ大阪」は、子どもたちが楽しく遊びなが
ら様々な体験をし、学ぶことができる「こどものため
の博物館」です。夏休みは企画展も開催。ご招待券を
プレゼントします。お子様と一緒にいかがですか。

期間： 平成24年8月1日(水)～
平成24年9月30日(日)※休館日除く

場所： キッズプラザ大阪
地下鉄堺筋線「扇町」駅2号出口すぐ
JR環状線「天満」駅西へ徒歩約3分

ご招待者： 東日本大震災により大阪市内に
避難されている方

申込： 大阪市ボランティア情報センター
☎06-6765-4041

締切： 7月20日(金)



天神祭 人形船講 河岸観覧席へご招待

このたび、大阪天満宮人形船講・鳴野、ほか1団体様から
大阪市へ、東日本大震災の避難者のご家庭(特に、子ども
のおられるご家庭)を対象として「天神祭人形船講河岸観
覧席」招待券のご寄附のお申し出がありました。観覧ご希
望の方は下記までお申し込みください。

日時： 平成24年7月25日(水)
(天神祭本宮 当日)
午後5時30分～午後9時

場所： 天満橋南西下・京阪シティーモール前
京阪・地下鉄谷町線「天満橋」駅 下車

申込： 大阪市ボランティア情報センター
☎06-6765-4041

定員： 100人

締切： 7月11日(水)

観覧における注意事項
人数分のスペースは確保されておりますので、上記時間帯
のいつお越しになられても結構です。(チケットをガードマ
ンにお見せいただきましたら誘導いただけます)
チケットには飲食物は含まれておりません。お持込みは結
構ですが、アルコール類は原則としてご遠慮いただきます
ようお願いいたします。

夏だ！ ボラ★チャレ 参加者募集！

「ボランティア活動には興味があるけれ
ど、始めてみるきっかけがほしいなあ」

「ボランティア活動って一体
どんなものがあるんだろう？」



この夏、ボランティア活動を
気軽に体験してみませんか？
充実したプログラムからはや
つてみたい分野がきっと見つ
かるはず！

まずはチャレンジ、
やってみよう！

ボラ★チャレとは？
ボランティア活動はじめての人も、様々な
活動をしてみたい人も、誰でもボランティア
の体験に参加できるプログラムです。この夏
に新たにボランティアにチャレンジして、新
しい自分を発見してみませんか。

体験
期間 2012年 7/1日～9/30日 申込受付 6/25(月)～
対象 小学3年生からボランティア活動に意欲のある方(参加いただけます)

お問い合わせ先 大阪市ボランティア情報センター
TEL 06-6765-4041 FAX 06-6765-5618 E-mail taikencomvo@ocvic.jp

障がい者とのふれあい★宿泊体験 参加者募集！！

大阪市ボランティア情報センターでは、毎年夏休みに肢体や視覚に機能的
な障がいのある方と、一緒に料理をしたり、お風呂に入ったりして、障が
いのある方の生活を実感してもらうことを目的とした宿泊プログラムを開
催しています。障がいのある方と2泊3日一緒に生活を体験することで初
めてわかることもたくさんあります。この貴重な体験を通じて、障がいの
ある方への理解をより深めませんか？楽しいプログラムもたくさん用意し
ていますので、ぜひご参加ください！

活動場所： 大阪市立伊賀青少年野外活動センター
(三重県伊賀市愛田 3156-1)

対象学年： 小学3年生～中学3年生

定員： 30人

参加費： 6000円(保険料 別)

申込方法： 電話・FAX・Eメール・郵送
(詳細は同封のチラシをご覧ください)

事前説明会： 8月11日(土) 10:30-12:30

主催：社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会 協賛：有限会社 へるぶる
大阪市立伊賀青少年野外活動センター 大阪市福祉教育 語りの会



編集後記

おかげさまで IMONIKAI は
今号をもちまして一周年と
なりました！
(ﾊﾞﾁﾊﾞﾁﾊﾞﾁ)
毎月発行していくことの
大切さを噛み締めながら、こ
れからもより良いものを作
ってまいります！ 修田翔

ご質問、ご連絡等は・・・



IMONIKAIバックナンバーもお送りできますので
ご希望の方はご連絡ください。

社会福祉法人大阪市社会福祉協議会 大阪市ボランティア情報センター

〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター内
Tel 06-6765-4041 / Fax 06-6765-5618
＜利用時間＞
月～金曜 9:30～20:30 土曜 9:30～17:00
＜休館日＞
日曜・祝日・国民の休日及び
年末年始(12月29日～1月3日)
E-Mail: ocvic@osakacity-vnet.or.jp

第1回御堂筋東北復興支援バザーが開催されました

5月24日(木)25日(金)、大阪市中央区の御堂筋沿いにある大阪ガスビル北館
にて、「第1回御堂筋東北復興支援バザー」が開催されました。このバザーは大阪ガ
スグループと株式会社りそな銀行が共催している「小さな灯」運動」という社会貢
献活動の一環で行われたもので、今回は8の団体や企業がそれぞれ東北から仕入れ
た物品や作業所の製品を販売し、売り上げをチャリティに活用しました。



↑お菓子作りはミローさんのキッチン
で。とても楽しいひとときでした。



↑マドレーヌはふっくらと、鮮やかな
緑色に焼き上がりました。



↑ポップコーンはUSJにも卸している
大人気商品。見事完売いたしました！

大阪市社会福祉協議会では25日、天然酵母
を使用したパンの作業所を運営しているNPO法人Cafe MILLO(カフェ ミロー)
とコラボしたブースを出展しました。Cafe MILLOでは東北にちなんだオリジナ
ルお菓子「ずんだマドレーヌ」「南相馬産味噌入りくるみクッキー」を制作し、
販売しました。こちらのお菓子は23日に避難者の方も迎えて制作したお菓子で
す。(ボラセンスタッフも修田、市居が参加しました)市社協では、株式会社
Dreamsに提供いただいたポップコーンを販売しました。また、当日はコスプレ
を通じた震災支援活動を行なっている震災復興コスプレ委員会の方にもチャリ
ティ商品の販売をご協力いただき、会場が華やかに色どられました。

一日雨雲が晴れないあいにくの天気でしたが、御堂筋を通る方々は復興支援
ののぼりにご興味を持っていただき、おいしそうなチャリティ商品を見らと思
わず手に取られているようでした。IMONIKAIに定期掲載しているコーナー
「方言の交差点」の筆者の榎引様にもお越しいたいただき、これから向かわれる宮城
へのおみやげにと、ずんだマドレーヌをお買い上げいただきました。市民の方
へ被災地の支援を呼びかける活動に、これからも様々な企業や団体と協力して
取り組んでいきたいと思ひます。ご協力いただいた大阪ガス様、りそな銀行様、
Cafe MILLO様、Dreams様、復興支援コスプレ委員会様、本当にありがとうご
ざいました！



←復興支援コスプレ委員会からは東北にちなんだ戦国武将をモチーフにした衣装で参戦！街行く人の目を釘付けにしたい！

今回の売上のうち、Cafe MILLOで
販売したお菓子の売り上げのうち
4,962円はMILLOで実施している
震災への義援金に、大阪市社協で
販売したポップコーンの売り上げ
51,300円は全額市内の避難者支援
活動に使用させていただきます。

大阪府下避難者支援団体等連絡協議会が動き出しています

5月12日(土)に立ちあげた大阪府下避難者支援団体等連絡協議会。次は7月13日(金)に第1回連絡会が行われ
ます。連絡会に向けて6月11日(月)、NHKラジオ第1放送にて放送中の番組「関西ラジオワイド」の中で、大阪市
ボランティア情報センターの修田が大阪府社会福祉協議会の林洋司さんとご一緒させていただき、協議会のめざしてい
きたい取り組みや、避難されている方へのメッセージなどをお話させていただきました。

関西ラジオワイドでは関西地域の様々な情報に加え、震災支援の情報も多く発信されてい
ますので、ぜひお聞きください！

『関西ラジオワイド』
(月～金16:05～18:00)
NHKラジオ第1放送
666kHz

弁護士会からのお知らせ



監修：大阪弁護士会

大阪弁護士会では皆様のご相談をお待ちしております。
お気軽にお問い合わせください。

フリーダイヤル	0120-062-545
電話番号	06-6364-1248
受付時間	月曜～金曜 13:00～17:00

震災前・原発事故前の借入等でお困りの方へ

東日本大震災や福島原発事故の影響で、それ以前からの借入金の返済が困難となった方、「私的整理ガイドライン」の利用をご検討ください。

この制度は、東日本大震災の被災者のために整備された手続で、私的整理ガイドライン運営委員会に申込を行い、弁済計画を立て、金融機関等の了承を得ることで、負債の全部又は一部を返済して残りについては免除を受けるという手続です。

〈弁済計画の具体例のご紹介〉

40代後半、震災前の年収300万円の会社員、銀行に2000万円の住宅ローン残債あり、義援金200万円と自宅流失による地震保険1000万円受領



義援金200万円と地震保険のうち500万円を手元に残し、500万円を弁済に充て1500万円の債務免除。手元に残った資金を土地購入資金・住宅ローンの頭金に充てて生活再建

原発事故被災者支援関西弁護士会ご連絡先
(TEL) 06-6362-9615
(FAX) 06-6362-5143

弁護士事務局長
大阪共同法律事務所 弁護士 白倉典武

ふくしま絆カフェ富岡を知っていますか？

東北だよりだっぺ！

町内全域が警戒区域となっている福島県双葉郡富岡町。この富岡町の約3分の1の方が避難されている福島県郡山市では、「ふくしま絆カフェ富岡」が開設され、富岡町の情報を得る場として、富岡町民同士や地元の方々との交流ができる憩いのスペースとして利用されています。先日こちらに大阪市内で活動されているボランティア団体「癒しの園芸の会」の方が、会で製作されている押し花作品と押し花はがきをお届けに行かれたので、その様子をご紹介します。

癒しの園芸の会では、以前から被災地へ押し花はがきをお届けする活動をされていました。ボランティアの皆様が制作した押し花はがきはとてもきれいで、植物の温かみを感じさせてくれる作品です。事務局長の進藤さんは「住まいが離れてしまった人同士、はがきを通じてこれからも繋がってもらえたら」と想いを込めていらっしゃいます。はがきは来所された町民の方々にさっそくお渡しされました。

桜やツツジといった花で有名な富岡町。ふるさとの花を思い出させてくれる押し花はがきは皆様の心に響いたのではないのでしょうか。



↓ 寄贈された押し花の作品。



↑ 癒しの園芸の会事務局長の進藤さん（中）とふくしま絆カフェ富岡のスタッフさん。



↑ ふくしま絆カフェ富岡の様子。日々多くの方が来られお話しに花を咲かせています。

◆ふくしま絆カフェ富岡◆

住所：福島県郡山市香久池 1-20-27
TEL：024-925-2337
営業時間：9:30～17:30
定休日：なし
駐車場：あり
(10台程駐車可)
郡山へ行かれることがあればぜひお立ち寄りください！

癒しの園芸の会では、避難されている方への押し花はがきの配布や、押し花ハガキの作り方講習会も行なっています。ご興味のある方は大阪市ボランティア情報センターまでご連絡ください！

方言の交差点

—東北弁と大阪弁が会う場所—

「カタカナ」の方言



大阪を歩いていると、「モータープール」の看板をよく見かけます。大阪で駐車場を「モータープール」と呼ぶことは知られていますが、意外にも大阪の人は方言だとは気づいていないようです。「モータープール」のようにカタカナで表記される言葉が方言のほうではないと思われるかもしれません。たしかにカタカナで書かれると、外来語のように見えて地域色がないように思えます。でも、全国を見渡せば、カタカナで書かれている言葉にも方言はあります。

大阪でいくつか例を挙げてみましょう。押しピン（画鋏）。カッター（ワイシャツ）。スコップ（小さなシャベル）。ミンチ（ひき肉）。レーコー（アイスコーヒー）。レスカ（レモンスカッシュ）。学生によると、押しピンは頻繁に使うそうです。レーコーやレスカは、学生の間で使用する有無がわかりました。また、漢字ドリルをカンド、計算ドリルをケードと呼ぶこともあるそうです。

東北にもカタカナの方言はあります。仙台では駅前にあるバスの総合発着所を「バスプール」と言います。運動着を「ジャス」と呼ぶことも知られています。東北では救急絆創膏を「カットバン」と呼ぶ地域が関西より多いという調査結果もあります。カタカナが隠れ蓑になって気づかれにくい方言は、見た目は外来語のようでも実は地元で根差した言葉なのです。

(追手門学院大学講師 櫛引祐希子)

【方言募集】ぜひ、ご連絡ください。

住所：〒567-8502 大阪府茨木市西安威2-1-15 追手門学院大学 櫛引祐希子

E-mail: yukushib@res.otemon.ac.jp

3.11 from KANSAI 報告会&ディスカッションが開催されました

6月11日(月)、大阪府社会福祉会館で、今年の3月に行われた復興応援イベント「3.11 from KANSAI」の報告会が開催されました。イベントの報告を通じて、復興に向けてこれから何ができるのかを話し合いました。ディスカッションでは関西県外避難者の会代表の遠藤さんのお話を聞き、具体的にどんなことができるかをグループごとに話し合いました。最後にペットボトルに入れたキャンドルに火を灯し、「絆」の文字を描いて、全員で1分間の黙祷を捧げました。関西からできることをこれからも継続して考えていき、実際に行動に結びつけていきたいと思ひます。



3.11
from
KANSAI